

## 農業機械・農業経営

### スマート農業技術の開発（可変播種）



新たな農業機械やスマート農業技術を活用した省力化・効率化・精密化技術の開発と体系化に取り組んでいます。

### 農業技術の経済性評価（自動操舵機能付き田植機）



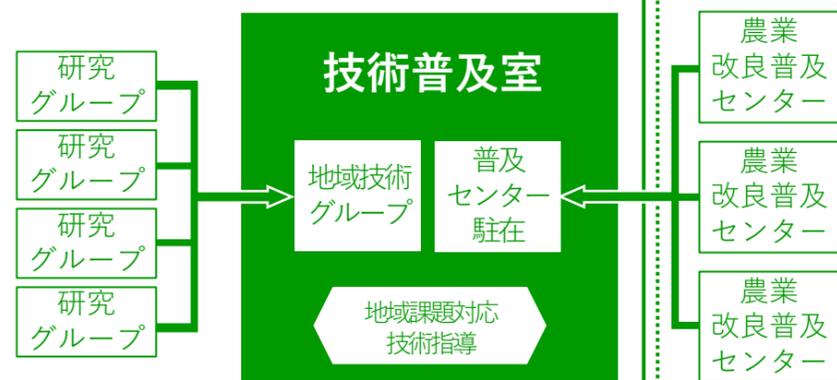
新たな農業技術の経済性評価、新たな政策に対応した経済指標の策定、多様な農業経営体の安定化に係る研究に取り組んでいます。

## 行政・普及事業との連携

農業研究本部では、地域の課題に対応する「地域技術グループ」と北海道から派遣された普及指導員が駐在する「技術普及室」を各試験場に設け、行政と普及が一体となって地域の課題解決や技術指導を行っています。

### 農業試験場

### 北海道



## 農業研究本部・農業試験場の住所・電話番号

中央農業試験場	069-1395	北海道夕張郡長沼町東6線北15号	0123-89-2001
遺伝資源部	073-0013	北海道滝川市南滝の川363-2	0125-23-3195
岩見沢試験地	069-0365	北海道岩見沢市上幌向町216-2	0126-26-1518
原子力環境センター	045-0123	北海道岩内郡共和町宮丘261-1	0135-67-7620
上川農業試験場	078-0397	北海道上川郡比布町南1線5号	0166-85-2200
道南農業試験場	041-1201	北海道北斗市本町680番地	0138-77-8116
十勝農業試験場	082-0081	北海道河西郡芽室町新生南9線2番地	0155-62-2431
北見農業試験場	099-1496	北海道常呂郡訓子府町字弥生52	0157-47-2146
酪農試験場	086-1135	北海道標津郡中標津町旭ヶ丘7番地	0153-72-2004
天北支場	098-5738	北海道枝幸郡兵頭別町緑ヶ丘8丁目2	01634-2-2111
畜産試験場	081-0038	北海道上川郡新得町字新得西5線39-1	0156-64-0616
花・野菜技術センター	073-0026	北海道滝川市東滝川735	0125-28-2800

職員数：農業研究本部416名（うち研究職員260名）令和7年4月現在

地域毎に異なる気象・土地条件に合わせ、各地で試験研究を実施。



地域の課題解決に積極的に取り組んでいます。

各試験場では、随時、見学・研修・相談を受け付けております。花・野菜技術センターでは、花き・野菜技術研修を行っております。各試験場にお電話でお問い合わせいただくか、ホームページの案内をご覧ください。

地方独立行政法人北海道立総合研究機構 農業研究本部  
069-1395 北海道夕張郡長沼町東6線北15号  
TEL：0123-89-2001 FAX：0123-89-2060  
URL：http://www.hro.or.jp/agricultural/

令和7年12月作成



道総研

地方独立行政法人  
北海道立総合研究機構

# 農業研究本部



# ◆ 農業研究本部の研究 ◆

## 水稻（米）

品種開発（玄米の品質比較）



美味しく、病気に強く、収量が多い品種を開発しています。DNAマーカーにより効率的に選抜します。「ゆめぴりか」「ななつぼし」「そらきらり」など

美味しいお米がたくさん穫れる栽培技術の研究を行っています。

米の栽培試験



## 畑作物（麦・豆・ばれいしょ・てんさい）

品種開発（大豆の選抜ほ場）



美味しく、加工しやすく、病気に強い品種を開発しています。

小麦「きたほなみR」大豆「ユキホマレ」小豆「きたろまん」など

品質の高い畑作物を安定して生産できる技術の研究を行っています。

小麦の栽培試験



## 栽培環境

有機質資源の活用（堆肥入り複合肥料）



減化学肥料栽培や有機農業における安定生産技術のほか、農産物の品質や鮮度保持についての研究を行っています。

農地の環境保全や土壌改良、センシング情報等を活用した栽培管理技術の研究を行っています。

土壌断面調査



## 酪農・畜産・飼料作物

肉牛の飼養管理



家畜（乳牛、肉牛、豚、地鶏）の飼養管理や繁殖技術に関する研究のほか、黒毛和種の種雄牛の造成に取り組んでいます。

家畜のエサとなる飼料作物の品種開発や生産技術の研究を行っています。

飼料作物の品種比較試験



## 園芸（野菜・花き・果樹）・遺伝資源

品種開発（いちご「ゆきアラ」）



（さくらんぼ「陽まり」）



美味しく、病気に強く、収量の多い品種の開発や、北海道の気候にあった栽培技術を研究しています。

作物の種子（遺伝資源）を長期保存



遺伝資源である種子の保存管理や主要農作物（米、麦、大豆）の種子の生産を行っています。

## 病虫害防除

コムギ赤さび病に対する新しい防除技術



北海道の主要な農作物に発生するさまざまな病害虫に対して、現在の発生状況や生産現場の課題に即した対策技術を研究しています。

青色光によるマメシクイガ防除



クリーン農業や有機農業に活用できる、環境負荷を抑制し、化学農薬の低減を進めるための技術開発に取り組んでいます。